

## 小金石地区水源森林再生対策事業について（西北地域県民局の巻 その 39）

おべ様：今回は、林業振興課が中泊町小金石地区で取り組んでいる「水源森林再生対策事業」について、紹介するね。

スギ雄：「水源森林再生対策事業」って、漢字ばかりでお堅い感じ（笑）だけど、どんなことをしているの？

おべ様：簡単に言うと、地図と写真にあるとおり、集落や上高根溜池上流の重要な水源地となっている保安林で、土砂が流れ難くて、浸透・保水能力の高い**健康な森林**をつくる事業なんだよ。



スギ雄：**健康な森林**ってなに？

おべ様：森林も人間と同じで**健康な状態**を作ってあげると、**元気になって持っている能力を十分に発揮**してくれるんだ。

木が混みあって光が入らない真っ暗な森林は、下草も生えず、降った雨がすぐに土と一緒に流れ出てしまうけど、混みあった木を抜き伐りして明るくした**健康な森林**は、下草も生えて、降った雨も一気に流さずに、土砂も流れず浸透・保水してゆっくりと流してくれるんだよ。



事業では、平成26年度から抜き伐りや青森ヒバを植えたりする森林整備を行っていて、185ヘクタールのうち、平成30年度末で40ヘクタール終わったところなんだ。



不健康な森林



健康な森林（赤丸は植えたヒバ）

スギ雄：まだまだ森林整備は残っているようだけど、道路も作っているでしょ。田んぼや畑に行くために道路が必要なのと同じく、やっぱり健康な森林にするためにも道路が必要だね。

おべ様：そのとおり。昔の人はどんなに遠くても歩いて行ったけど、伐った木を運んだりしなきゃいけないし、健康な森林にするためには車が入って行けなければ大変なんだよ。

この事業では、2路線で約2.6kmの作業道を作ったんだけど、この作業道があれば、事業を終わった後も森林を管理しやすくなるんだ。

余談だけど、林業マンが山に入るときは、ナタやノコギリなどの刃物が欠かせないんだ。木に巻き付いているツルや邪魔な木など目についたものを伐ったりするのに便利なんだ。

作業道があれば楽に行けるから山に入る回数も増えて、例えば、毎回1本ずつツルなどを伐るだけでも森林は健康になっていくと思うよ。

ところでこの他に、溜池に土砂が流れていかないように、崩れそうな斜面を切り落として、草の種が入ったマットを張り付けたり、斜面の下に木製の土留めを設置する山腹工（さんぷくこう）という工事もやっているんだ。

スギ雄：山奥でやっているから私たちがめったに見ることはできないけど、林業に携わっている人たちは地道に根気よく頑張っているんだね。

おべ様：そうだね。

田んぼや畑も何年も掛けて健康な土をつくり、安全・安心で美味しいお米や野菜を作っているけど、林業も山に木を植えてから何十年もかけて手入れをしなければ、健康な森林にはならないんだ。派手さは無いけどとても大事なことなんだよ。



作業道（2路線）



山腹工